

西建協だより

287号

2018年
6月



就任のご挨拶

西多摩建設業協同組合 理事長 榎 森 厚 志

先の西多摩建設業協同組合第五十二回通常総会において、理事長に任命されました株式会社榎木工業の榎森でございます。大役を仰せつかり職責の重さを痛感し身の引き締まる思いでございます。今後は当組合が三多摩地区建設業界の指針となれるよう微力ではございますが、努力邁進する所存です。つきましては組合員、賛助会員皆様方のご支援を賜れますようお願い申し上げます。

また、四期八年に亘り理事長として当組合を牽引して頂いた細沼様、七期十四年間、副理事長として支えて頂いた酒井様には長きに亘るご尽力に衷心より感謝申し上げます。世論ではオリンピックパラリンピック

就任のご挨拶

西多摩建設業協同組合 副理事長 上 坂 健 一

先般の第五十二回通常総会において副理事長を仰せつかることとなりました、株式会社上坂重機開発の上坂でございます。半世紀の歴史ある西建協でもあり身の引き締まる思いです。

建設業界また西多摩地域においても担い手の入職、働き方改革など取り組まなければならぬ課題は同じであります。人材不足の中で週休二日の実施、生産性向上をはかりライフワークバランスを実現するには業界の取組みや努力だけでは限界があり、適切な工期、単価工事価格、施工時期の平準化等の発注者側の理解が不可欠です。また、ICT土工やドローン等の三次元測量といった省力化も施工規模、コストの面で活用出来ないのが現状であり

また、震災に対応可能なネットワークの拡充や近隣団体とも連携を図ること、『西建協』は必要不可欠な団体だと認識してもらえることが西多摩建設業協同組合の存在意義であり、西多摩地区から東京の未来を切り開いて参りたいと存じます。

当組合『西建協』は各委員会の活動を主体に組合員相互扶助の精神に基づき建設業界を牽引し、社会的地位向上に努めて参る所存です。各関係省庁の皆様方に於かれましては今後とも特段のご高配、ご指導ご鞭撻を賜れますようお願い申し上げます。

の企業経営が明るい展望へと改善されなければなりません。西建協として、また関連団体と共に関係機関との意見交換、要望活動を継続して改善に努めなければと考えます。私たち建設業者は地域のインフラの整備・維持の担い手であると同時に地域社会の安全安心の確保を担う守り手でなくてはなりません。

副理事長として西建協の前進に向け、また建設業の地位向上に寄与する所存で御座います。組合員各位、関係各位のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。任のご挨拶といたします。

就任のご挨拶

西多摩建設業協同組合 副理事長 小 高 城 司

先般の西多摩建設業協同組合第五十二回通常総会におきまして副理事長に任命されました。株式会社村尾重機の小高でございます。大役を仰せつかり職責の重さを痛感し身の引き締まる思いでございます。組合員、賛助会員の皆様におかれましては、若輩の身ではありますが、誠心誠意努めさせて頂きましますので、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

- ① 災害対策組織の強化及び近隣組織との連携
- ② 組合員の技術力向上、スキルアップ講習会等の実施
- ③ 労働災害撲滅の為に工事現場パトロールの実施
- ④ 組合活動の強化及び広報の拡充
- ⑤ 暴力団等排除協議会の活動
- ⑥ 新規組合員および賛助会員の確保
- ⑦ 組合収益事業の拡充
- ⑧ 西多摩地域における社会貢献

この目標に際しまして、我々の努力だけで足りない部分は東日本建設業保証(株)、建通新聞社並びに賛助会員の皆様にお知恵を拝借し、実りある活動を実施していき、同じ目標をもつ仲間同士で協力し合い、一つ一つ課題を乗り越えていきます。

榎森理事長のリーダーシップのもと、失敗を恐れずチャレンジして行きますが、若さゆえの至らない点、配慮の足りない点が必ずあるかと思っております。

今後とも皆様のご指導、ご鞭撻を賜れますようお願い致します。副理事長就任のご挨拶とさせていただきます。

◇平成30・31年度役員名簿◇

理事長	榎 森 厚 志	(株)榎木工業
副理事長	岩 浪 岳 史	岩 浪 建 設 (株)
	上 坂 健 一	(株)上坂重機開 発
	小 高 城 司	(株)村尾重機
理 事	古 屋 英 司	小 河 内 建 設 (株)
	戸 高 弘 喜	戸 高 建 設 (株)
	武 田 雅 由	(株)武田組
	島 田 昌 典	(株)島田組
	高 丘 長 武	(株)高丘組
	宮 崎 一 三	(有)宮崎土木
	大 館 貴 之	大 館 建 設 工 業 (株)
	馬 場 英 明	(株)馬場組
	井 戸 功 誠	井 戸 鉄 建 (株)
	石 川 久 雄	(事務局長)
監 事	熊 谷 拓 治	熊 谷 建 設 (株)
	岡 野 恵 之	(株)岡野組
	鈴 木 誠	東 日 本 建 設 業 保 証 (株)
		新 宿 支 店 店 長
相 談 役	佐 久 間 一 三	
	細 沼 順 人	
	酒 井 政 修	

職場の安全・衛生のための活動

東京都内では、**1年間に60人**を超える方が労働災害で亡くなっています。
労働災害を防止するため、以下の事項に取り組みましょう！

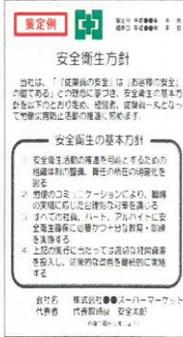
□経営トップの意識が重要です！

安全で衛生的な職場環境を実現するためには、企業内の体制を整備する必要があります。この観点から、経営トップが方針を表明し、職場の安全衛生に対する意識や取組をご確認ください。

□安全衛生管理体制は確立されていますか？

労働災害を防止するには、企業の自主的活動が不可欠です。このため、安全管理者などの法定の管理者を選任し、適切な職務を行わせているか、活動実態はあるかなどをご確認ください。

また、第三次産業の一部業種など、安全管理者等を置くことが法的義務となっていない事業場においても、安全衛生に関する担当者（安全推進者）を置き、職場環境の改善や作業方法の改善、労働者への安全教育や意識啓発の取組を行ってください。



□職場内の危険を洗い出し、順次改善していきましょう！

機械設備や生産工程の多様化・複雑化に伴い、個々の事業場に合わせた危険性の把握が一層重要となっています。このため、職場内の危険性を調査し、必要な措置を講じること（リスクアセスメント）は、事業者の責務とされています。

職場内の危険な場所や作業内容を不断に確認し、危険性の高いものから順次改善を行ってください。



□労働者1人1人に対する意識啓発をお願いします

職場内での転倒や、移動中の交通事故など、労働者1人1人の安全意識が重要となる労働災害の割合が増えてきています。死亡災害などの重篤な災害を防ぐためには、労働者自身が危険性を事前に察知することも重要なことです。

この観点から、労働者1人1人に対し、事業場内の設備や作業内容に応じた安全・衛生に関する教育、労働災害防止のための意識啓発の取組をお願いします。

首都東京で働く人の労働災害を防ぎましょう！

東京労働局では、第13次労働災害防止計画に基づく取組を推進しています。



青梅労働基準監督署 HP



～トップが打ち出す方針
みんなで共有 生み出す安全・安心～
東京労働局・労働基準監督署



東京労働局 HP

職場における労働災害防止の要請

日頃から、労働基準行政の推進につきましてご協力いただき厚くお礼申し上げます。
さて、当署管内の労働災害の発生件数は、労使の皆様をはじめ、関係各位のご尽力により長期的には着実に減少してきています。

しかしながら、東京都内では今なお年間60人を超える方が労働災害により命を落としています。

また、当署管内では、平成29年は平成28年に比べ、死亡者は減少したものの、死傷者は増加という憂慮すべき状況にあります。

死傷者については、全産業の休業4日以上の労働災害316人のうち、5割以上が小売業や飲食店、社会福祉施設等の第三次産業に従事する方々でした。労働災害全体に占める第三次産業の割合は年々増加し続けています。業種ごとの差はあるものの、第三次産業においては、転倒、腰痛・捻挫の割合が高くなっています。

労働災害の増加には、様々な背景があるものと考えられます。経済の活性化、経験豊富な現場管理者や技能労働者をはじめとする人手不足などもその一因と考えられます。

しかしながら、平成29年に発生した死亡災害をはじめとする重篤な労働災害を個別にみると、基本的な安全管理の取組が徹底されていないことによるものが多数見られ、安全衛生管理体制がおろそかになっている状況が懸念されます。

労働災害は本来あってはならないものであり、特に死亡災害を発生させないためには、経営トップの強い意識のもと、不断の取組が必要です。労働災害のない職場づくりを進めることは、人材を確保・養成し、企業活動を活性化する上でも、大きなメリットをもたらします。

7月1日から7日までの全国安全週間を控え、準備期間である6月は、事業場の安全について点検を行う良い機会でもあります。事業者の皆様におかれましては、裏面事項に特にご留意の上、死亡災害の未然防止及び労働災害全体の減少に向け、安全・衛生のための活動を行っていただきますよう要請いたします。

平成30年6月

東京労働局 青梅労働基準監督署長

田中宏治

◇日建学院青梅認定校(西建協)からのご案内◇

受講生募集案内 『合格のための受験対策講座』
＜青梅校2018年度開講講座＞

- ◎1級建築施工管理技士 実地コース
- ◎1級土木施工管理技士 実地本科コース
- ◎給水装置工事主任技術者講座 毎週 火・木
講義日程 7月下旬～10月中旬 18:40～
- ◎2級土木施工管理技士(学科・実地)コース 毎週 火・木
講義日程 6月下旬～10月中旬 18:30～
- ◎宅地建物取引主任者本科コース 毎週 水
講義日程 3月中旬～10月中旬
- ◎2級建築施工管理技士(学科・実地)コース 毎週 火・木
講義日程 8月中旬～11月上旬

西多摩建設業協同組合が「日建学院認定校」として青梅校を開講(9年目)致します。

会員企業の皆様からの受講問合せ(受講申込)等の連絡をお待ちしております。

*詳細説明は随時致します。

*先ず下記までお問合せ下さい。

連絡先 青梅認定校(西建協) 0428-22-6245 石川
日建立川校 担当:澤田 080-9349-3870

5月事業報告

- 8日 事業委員会
- 14日 広報委員会 286号編集発行
- 15日 西多摩建設業協同組合 親睦ゴルフコンペ
- 18日 三建連 合同企業説明会 第2回実行委員会
- 21日 総務委員会
- 23日 理事会
- 23日 西多摩建設業協同組合 第52回通常総会
会場:青梅市福祉センター 2階うめの間
- 31日 西建協・若手経営者の会 第25回定期総会
会場:建設会館 3階大会議室

6月事業計画

- 1日 三建連 合同企業説明会
場所 日本工学院八王子専門学校
- 7日 西多摩建設業連合会 定期総会 (会場:昭島市内)
- 8日 広報委員会 287号編集発行
- 15日 安全週間説明会 定期総会 (西多摩分会)
午後2時～
会場 羽村市 ゆとろぎ 2階講座室
- 19日 理事会

7月1日～7日 全国労働安全週間